



関西支部報

http://www.jackansai.com

マナスルは遠くになりにつけり

重廣恒夫

晩餐会報告

昨年12月1日、平成最後の年次晩餐会が新宿京王プラザホテルで開催されました。祝宴に先立って展示会場では「明治から平成の日本山岳会」をテーマに、各支部から写真、図書、登山用具の展示、支部でおこなっている「高頭祭」「最澄祭」「藤木祭」「小島烏水祭」「楨有恒祭」などが紹介されました。関西支部は、支部ルーム開設時(昭和10年9月)の看板、会員でRCC創設者藤木九三翁の色紙2枚、九三翁が通った六甲山の岩場の写真、藤木祭の実施状況など、また金井健二さん所蔵の日本にスキーを伝えたレルヒ少佐関係の写真、スキー教則本、宮様で最初にスキーを始められた伏見宮博義王(伏見宮第25代・伏見宮博恭王の第1皇子)のスキー写真などを展示しました。

講演会では、特別講演で「山と旅」と題して『神々の山嶺』で知られる作家の夢枕獏氏が、『西遊記』に登場する玄奘三蔵の足跡を辿った旅—1988年日本山岳会東海支

部「日中友好天山山脈雪蓮峰登山隊」の氷河古道踏査に加わった時の体験を話されました。チョゴリザ登頂60周年記念講演では、記録映画『花嫁の峰チョゴリザ』上映の後、登壇された京都大学学士山岳会(AACK)登山隊の中島道郎、平井一正、高村泰樹、岩坪五郎、芳賀孝郎の5隊員を代表して平井さんが計画から登頂までを説明された。この登山が平井さんの人生観を大きく変えたことを語られ、若人達に向けて「未知への飽くなき探究とチャレンジ」を示唆されました。秩父宮記念山岳賞を受賞された小疇尚さんは「日本の山岳景観」の演題で、画像を示しながら日本と海外の山岳を比較して北アルプスなどの氷河地形の生い立ちを話されました。最後の海外登山報告では、鳴海玄希さんによる「セロ・キシトワール北東壁初登攀」、青年部の宮津洸太郎さんによる「チャムラン登山隊2018」の報告がありました。

皇太子殿下の祝宴への出席はかないませんでした。展示会を熱心に見学され、16時までの講演に耳を傾けられた後、別室で講演者全員と懇談されました。

時の流れ

チョゴリザ初登頂から60年、平井さんによりますと55年位前から登頂日の8月4日前後に毎年同窓会のような

平成31年度

関西支部総会のご案内

日時 2019年4月24日(水) 午後6時30分
 場所 大阪凌霜クラブセミナー室
 大阪駅前第1ビル 11階 ☎06-6345-1150
 議事 ①平成30年度 活動報告、会計報告
 ②規約改正
 ③平成31・32年度役員選出
 ④平成31年度 活動計画、予算ほか
 懇親会 老房(ラオフアン) 午後7時30分より
 会費5,000円
 同ビル12階 電話 06-6341-7051
 *4月15日までに同封ハガキに62円切手を貼付のうえ出欠をご返事ください。

目次

マナスルは遠くになりにつけり 重廣恒夫	1
平成31年関西支部新年会報告	
三輪文一	2
著者と語る会報告	
辻和雄	3
山行報告	
▽横尾山▽天ヶ瀬▽三上山・良山▽ハーフ全縦(後半)▽針ノ木尾▽岳山▽ミヤンマ	4
1・ビクトリア山▽鷲峰山▽稗己屋山・	
鳥帽子ヶ森▽有馬富士公園▽松尾山・嵐	
山・鳥ヶ岳▽布見ヶ丘▽大岩ヶ岳▽新穂	
高▽不溜山▽大空山	
本願寺山森林づくりの会活動報告	
武田壽夫	13
台湾高峰と溪谷(第4回)	
茂木完治	14
会務報告	
支部山行計画	
自然保護行事	
20	18

ものを行っていたそうです。初めは関係者のみで、その後アンナプルナ、ノシャック、サルトロカンリ、その他関係者も加わり「アンチョコ会」と称して毎年場所を変えて懇親を深めていましたが、高齢化も進み、当初の目的も薄れてマンネリになったこともあり、昨年をもって最後にされたということです。

私の参加した登山隊でも、第2次RCCエベレスト南壁登山隊(1973)は「エベレスト会」と称して毎年東京都下で懇親会を開いています。日本山岳会のナンダデヴィ登山隊(1976)、チョモランマ登山隊(1980)、カンチェンジュンガ登山隊(1984)は、隊員の一人が経営している岩岳のホテルでスキーと懇親会をおこなっていましたが、最近ではスキーの滑走時間が短くなっているようです。K2登山隊(1977)は最も歴史が長く、「K2会」と称して毎年持ち回りで隊員の居住地で開催しています。今年は3巡目で私の担当で、秋に淡路島で開催予定です。K2登山隊はその後の登山で亡くなった隊員も多く、残された家族の参加比率が高い親睦会となっています。マカルー登山隊(1995)も「マカルー会」と称して毎年開催しています。まだ現役の隊員も多く参加者は少ないのですが、これからの山岳会を担うべき人達も多いのが救いです。日本・中国・ネパール三国友好登山隊(1988)によるチョモランマ交差縦走は宇宙中継という大きなイベントもあって、日本登山隊関係者41名(内登山隊員30名)、読売新聞関係者9名、日本テレビ関係者30名の計80名という大所帯でした。そんなわけで20周年は日本山岳会の主催で開催。30周年記念パーティーは、日本テレビが主催して昨年4

月27日に開催されました。私は日本山岳会参加者の取り纏め役でしたが、メールや葉書を通じてのやり取り中に南側隊長だった湯浅道男さん(81歳)と隊員の大宮求さん(69歳)の訃報を受け取り驚愕しました。記念パーティーには、山岳会からは斎藤惇生さんをはじめ15名の隊員と8名の関係者が出席しました。これまでに総隊長だった今西壽雄さんをはじめとして10人が亡くなってしまいましたが、その後、副総隊長の大塚博美(93歳)さん、実行委員会委員の松田雄一(88歳)さんが相次いで亡くなりました。

世界第8位の高峰マナスルは、1956(昭和31)年5月9日に日本山岳会隊によって初登頂されました。感激をいつまでもと、登頂日前後に全隊員が集まって旧交を温める「マナスル会」が毎年開催されていました。30周年を節目に暫く休会してはということになり、第30回のマナスル会は夫人同伴でおこなわれたようです。その後40周年、50周年はカトマンズでおこなわれ、マナスル初登頂を契機に国交樹立がされた両国の友好関係は2016(平成28)年の60周年まで粛々と続いてきました。マナスル登山の立役者だった大塚さん、松田さんのご逝去は、一つの時代が過ぎ去ろうとしている現実を示しているのではないのでしょうか。

残された我々の責務は、マナスル後のヒマラヤ登山をマナスルと客観的に対比しながら、それぞれの時代におこなったヒマラヤ登山の意義の分析・研究を進め、日本山岳会の果たした役割を、次代に伝承することにあるのではないかと考えています。

平成31年 関西支部新年会報告

三輪文一

今冬は雪が少ないと各地から情報が入ってきます。しかし1月下旬ともなると暖冬でも寒く感じます。そのような寒い1月23日午後6時半より梅田大東洋に於いて、日本山岳会関西支部の新年会が開催されました。

新本さんの司会で金井支部長の挨拶で会は始まりしました。重廣日本山岳会副会長のお話、新人会員の紹介などお酒も入り賑やかに会は進んでいきました。

私も会員の皆様の前であいさつをする機会を頂きました。私は、日本山岳会には1988年チョモランマ三国縦走隊に参加する時に入会いたしました。関西支部に籍を置かせていただいたのはハッキリとは覚えていませんが、重廣さんが支部長になった頃ではないかと思えます。

支部に入ってから全員の幽霊会員で、昨年末に山仲

間の忘年会で、重廣さん、中村さんに顔を出すように促され初めて出席させていただきました。新年会の雰囲気は大変和やかで、今後の山の計画を熱く語っていらっしゃるのを目の当たりにして、頼もしく感じると共に、本当に素晴らしい事と思いました。

私は現在、関西山岳ガイド協会の会長をしています。50歳で会社をリタイアしてガイド業を始め、今年で20年になります。お陰様でこの20年間のガイド日数は5000日を越えました。ハイキング、縦走、岩登り、雪山、アイスクライミング、海外と幅広く山に登ってまいりました。お客様は、日本山岳会の会員の方と同じようなご年齢の方が多いです。後期高齢者の方でも岩登り、雪山、アイスクライミング、海外登山等ご一緒しますが、山登りは

歳を重ねても色々な形で楽しむことが出来ると痛感しています。

私も残された時間が少なくなってきましたが、事故を起こさないように山登りを続けていきたいと思ひます。また、関西支部の方々とも是非山行をご一緒できればと願っています。



写真提供：水谷 透

参加者

青木昭 新井浩 新本政子 井関正裕 伊原哲士 岩崎しのぶ 魚津清和 大津陸郎 大西康郎 小黒節郎 斧田一陽 金井健二 金井良碩 久保和恵 黒田記代 河野直子 小寺佳美 坂口和子 鹿田勝 重廣恒夫 柴田美生子 城隆嗣 高木知子 辻和雄 豊田哲也 中久保忠伸 中谷絹子 中村久住 中村三佳 西尾俊子 野村珠生 橋本圭之輔 平井一正 廣田猛夫 水谷透 三輪文一 宗實慶子 宗實二郎 村田梯章 茂木完治 山田健 (栃木) 菱田克彦 (ATS) 大島義弘 中西諒 計44名

欠席者の便りから

- ⌘ 11月16日夜に自宅居間で転倒し、左大腿骨を骨折。唯今、入院中です。術後は順調ですが、リハビリは相当辛そうです(代筆) 3915 藤木高嶺
- ⌘ 米寿を過ぎて、家周辺の坂道を小トレッキングしております。皆様によろしくお伝え下さい。 5590 塚崎義人
- ⌘ 上高地の山研運営で毎月山研通いが続いています。今年もよろしくお祈りします。 8494 安井康夫
- ⌘ 今冬もスキーを楽しんでいます。1月9日JAC東海の新年会に参加します。関西の皆様によろしく 13000 井上達男
- ⌘ 何かと頑張っていますが、夜間の会合は全て欠席しています。参加の皆さんによろしくお伝え下さい。 13590 山並久次
- ⌘ 自分でも信じられない「喜寿」の今年、昨年からの持病の腰痛もあってか、めっきりと体力の衰えを感じて

いる次第。とりあえず“陽だまり山行”には参加することができた。この1年、どれほどの山旅ができるのか不安でもあり、楽しみでもある年頭の所感である。

14322 前田正彰

⌘ 昨年は山歩き以外の用事が多くあり、あまり歩いておりませんが今年は何とか都合をつけて登るつもりです。 14586 山本義博

⌘ 皆様、ご活躍のことと存じます。昨年は本務多忙につき、山中に入ることが叶いませんでした。相当の“山欠”状態です！今年こそはと思ひます。よろしくお祈りいたします。 15638 中川委紀子

⌘ 当日も仕事があり欠席させていただきます。たまにしか山へは行けてませんが、登るとリフレッシュできて楽しいです。今年には雪山に挑戦してみたいと思ひていますが、なかなか難しそうです。 A0051 上森文字子

⌘ いつもお世話になりありがとうございます。おかげさまで元気に過ごしておりますが、予定があつて欠席します。 90003 黒岩敦子

著者と語る会報告

講演「ガイドブックあれこれ」

辻 和雄

11月11日(日)、大阪凌霜クラブセミナー室にて「著者と語る会」が午後2時半より開催された。講演者は、現在「岳人」の編集に携わっている加藤芳樹さんで、以前から山と溪谷社のガイドブックや『関西ハイキング』等の編集に関わっておられたこともあり、話題も豊富で楽しく聴いた。

ガイドブックの編集では、書き手の文章が読める文章になっているか、間違っていないかを見極めることが必要とのこと。現在携わっている新「岳人」は、旧来のハイレベルな登山領域から、一般的な登山領域にシフトしているそうで、山の文学なども取り入れている。

従来のガイドブックは『近畿の山と谷』(住友山岳会)を始めほとんど文章で、紀行文調のものであった。しかし90年代より写真が入り、最近では交通機関・費用・地図などの情報も入ったものでないと売れないとのこと。

近年の読者(登山者)の多くは、登山情報をインターネットから収集している。インターネットの情報は、最近の情報を入手できるが、書き手の主観に左右されるので注意が必要との指摘も納得できた。

面白かったのは、ガイドブックに表記された時間より早く歩いた読者からの苦情は無いが、遅く歩いた読者からは苦情が入るとのこと。登山者やハイカーの心理が分かるような気がした。

【参加者】

秋月修次 新本政子 井関正裕 岩崎しのぶ 魚津清

和 岡田輝子 金井健二 金井良碩 加藤芳樹 岐部明
弘 清瀬祐司 久保和恵 黒岩敦子 黒田記代 小寺佳
美 薦田佳一 田中アキエ 辻和雄 野口恒雄 橋本圭
之輔 播戸日出生 水谷透 宗實二郎 宗實慶子 茂木
完治 森沢義信 山内幸子 横山規江 若林朋世 会員
外1名 計30名

支部山行報告

支部山行18-24 六甲全縦トレーニング(4) 須磨浦公園駅～横尾山～鶴越駅

関戸京子

10月13日(土)晴

須磨浦公園駅で、しばらくぶりの懐かしい仲間と会えた。今年は猛暑と大雨(台風)が交互に来て、登りたくとも、山に行けず、久しぶりの山行となった。案内役は六甲全縦30回以上の経歴を誇る前田さんである。

まずは敦盛塚にお参りして出発した。鉢伏山、鉄拐山、山頂から見下ろす神戸の街並みや海岸線が美しい。街中(高倉団地)に入り団地造成中の話など興味深い話に耳を傾けていたら、ごつごつした山道になった。須磨アルプスである。今回のコースで唯一山登りの雰囲気を楽しめた。六甲全縦のコースは何回かの変遷を経て今に至っているようである。今回のコースは階段と街中が多くて、ちょっと残念だった。

鶴越駅には予定通り午後2時に着いた。これから菊水、鍋蓋山、摩耶山とハイライトともいうべき山が続く。「もう少し登りたい」と言おうか、迷っているうちに電車がきてしまった。こんなにいい天気なのに、せめて、菊水、鍋蓋までは行きたかった…。



明石海峡を背に 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

須磨浦公園駅08:20～08:25敦盛塚～09:15旗振山～09:55高倉団地～10:40横尾山～10:50須磨アルプス～12:30妙法寺～12:50高取山～14:00鶴越駅

【参加者】

前田正彰 松仲史朗 関戸京子 会員外1 計4名

支部山行18-26 ゆるやか山行 東海自然歩道12 天ヶ瀬コース

播戸日出生

10月25日(木) 晴

京阪宇治駅前で人数確認後、川沿いの世界文化遺産宇治上神社を通り抜け、仏徳山(大吉山131m)に登る。休憩所にて山内さんの号令のもと準備体操。展望台で内田さんに説明を受けながら平等院など宇治市街、遠くの山々などの風景を堪能し、下山。興聖寺の境内からスケッチのメッカとされる参道を通り抜け、宇治川右岸を遡行、天ヶ瀬吊り橋(1942年架橋・1996年全面改修)まで歩いて休憩。吊り橋を渡って左岸を500mほど下流に戻り、もみじ谷入口の案内板にしたがって沢筋を白山神社に向かう。神社から長い急な石段を下った平地で昼食休憩。ここまでは自然・文化遺産など楽しみながらの観光気分が味わえるゆるやか山行。

昼食後、茶畑の丘陵地帯を暫く歩き、草木に隠れた自然歩道標識よりブッシュとなり藪漕ぎの状態に進む。沢沿いの急斜面の林道は大小無数の木々が倒れ込み往く手が塞がれ、何回も立ち往生。倒木を跨いだり屈み込んで潜り抜けたり、迂回したりと悪戦苦闘の連続。難儀しながらもこの難所を無事通過。予期せぬことで時間を費やしてしまった。終着点・郷之口バス停からの予定バスに乗車することが危ぶまれることもあり、リーダーの判

断でコース途上の“みどりが丘”バス停で数人はバスに
乗車し、残りは最後まで歩いた。

午後はゆるやか山行気分が吹っ飛ぶ台風21号禍の凄い
山道を無事完歩。終わればいい体験が実感できた東海自
然歩道歩きだった。



行く手を塞いだ倒木群 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

京阪宇治駅09:10～10:03仏徳山～10:18興聖寺～10:34天ヶ
瀬橋～11:21白山神社12:01～14:15くつわ池～14:58郷之口
BS

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 新井浩 岩崎しのぶ
内田嘉弘 内田昌子 浦上芳啓 金井健二 黒田守彦
嶋岡章 高木知子 田頭夏子 中島隆 野口恒雄 野村
哲夫 橋本圭之輔 廣瀬健三 秋月修次 金川清弘 岐
部明弘 木村早苗 黒岩敦子 小林三喜男 蓮川博凡
播戸日出生 横山規江 会員外2 計29名

支部山行18-27 六甲全縦トレーニング(5)

10月27日(土)は、中止しました

支部山行18-28 しっかり歩こう
加茂から三上山・良山

深澤優子

10月28日(日)晴

JR加茂駅に集合。歩き始めは少し肌寒い感じだったが、
空は晴れ渡り心地よい山行日よりだった。道には加茂まつり
の旗が立っており、お祭りが催されていた。恭仁宮跡にある
山城国分寺跡の碑の前で準備体操後、出発。

海住山寺の境内を巻いて、林道から急な山道に入る。
中腹まで登ると海住山寺の境内と分かれて三上山登山口
に到着。ここまできると、汗があふれ、秋風が心地よい。

頂上直下の林道を歩き、視界の開けた場所へ。ここで、
いったん休憩後、冒険の道へ。急斜面の丸太階段を登り、
何度か林道を横切り、急坂を一気に尾根筋まで登る。か
なりの急登にも拘わらず、皆さん賑やかに軽やかに登っ
ていかれた。初参加の私は、流れる汗をぬぐいながら、
息絶え絶えに30分ほど登ると目の前に山頂が見えてく
る。頂上には立派な展望台があり、力を振り絞って階段
を登る。展望台のもとにひっそりと三等三角点があった。
展望台からは、すぐ北に次に目指す良山があり、東方向
に鈴鹿や比叡山・西方向に六甲山までが見渡せる大展望
であった。これまでの疲れがかき消されてしまうような
風景だった。三上山より稜線を下り、大正池へ地図を頼
りに歩く。大正池グリーンパークのベンチで昼食となっ
た。池周りは少し色づいていたが、まだ紅葉というには
時間がかかりそうな状態だった。

大正池からしばらく林道を歩き、登山道に入り、良山
へ。山頂からあまり展望はなかった。少し隠れたところ
に三等三角点があった。ここで、予定から1時間ほど遅
れているので、今後の行程を変更し郷之口に下ること
になった。北へ向かい手の平峠の看板を通過。倒木の多い
ぬかるみ道を何度か滑りながら下って、お茶畑の集落に
到着。荷物をおろし、ティータイム。西日がまぶしい。
秋の香りを満喫した楽しい山行だった。



三上山展望台にて 写真提供：山内幸子

【コースタイム】

JR加茂駅08:40～09:20恭仁宮跡～09:40海住山寺～10:30
三上山登山口～11:02三上山～12:38大正池13:15～14:04良
山～14:44手の平峠～15:25林道15:45～16:15郷之口BS

【参加者】

山内幸子 小黒節郎 久保和恵 関戸京子 野口恒雄
深澤優子 計6名

支部山行18-29 「六甲全縦」トレーニング(6) ハーフ全縦(後半)

松仲史朗

11月3日(土)晴

「六甲全縦」トレーニングは6回目の最終日。秋雨前線や台風の影響で3回中止になった。今回の計画は、神鉄鶴越駅から菊水山、摩耶山、記念碑台を經由し、東六甲縦走路で宝塚駅に至る38kmを11時間で歩く計画だ。

秋晴れの神鉄鶴越駅から市民公園を抜け、谷に沿って進むと展望の良い菊水山山頂に到着。天王吊り橋を渡り鍋蓋山までは急登。鍋蓋山登りでリーダー腿の不調で、残念ながらリタイア。鍋蓋山頂には11月の2018KOBE六甲全山縦走大会に参加予定の数グループの登山者がいた。大龍寺付近では多くの家族連れが楽しそうに新神戸駅から再度山を目指していた。市ヶ原を通過し稲妻坂天狗坂は長い登り坂が続く正念場。

摩耶山に到着し昼食。その後、記念碑台からネットで覆われたゴルフ場の中を進み、一軒茶屋を目指す。途中、あべのハルカスや生駒山を望み、延々と歩くと到着。

宝塚方面に進み鉢巻山トンネルをくぐり抜け東六甲縦走路に入る。船坂峠を通過し、日没の17時が過ぎた。大谷乗越でヘッドランプを装着。急に林道が暗くなり足元の悪い下り坂を慎重に塩尾寺を目指す。甲子園大学を通過、宝塚駅に予定時間に到着し、本日の山行を終えた。



摩耶山掬星台 写真提供：関戸京子

【コースタイム】

神鉄鶴越駅07:40～8:53菊水山～9:56鍋蓋山～10:35市ヶ原～12:15摩耶山12:45～14:35ガーデンテラス～15:24一軒茶屋～16:27船坂峠～18:08塩尾寺～18:40宝塚駅

【参加者】

前田正彰 関戸京子 松仲史朗 会員外1 計4名

支部山行18-30 比良山系を歩く 針ノ木尾～岳山

魚津清和

11月4日(日) 雨後曇

富坂口バス停から針ノ木尾の取付きに向かって林道を歩き始めるが、天気予報は見事に外れて雨。その為、展望は期待できず、山座同定もままならず。谷筋を少し入った処で取付き稜線を目指す。



シダに覆い尽くされた尾根筋 写真提供：魚津清和

ルートファインディングしながら歩を進める醍醐味はある。誤って谷筋に下りてしまい、修正して元の尾根に登り返すこともあった。山全体はシダの群生に覆われ、雨を被ったシダ類の下に倒木が隠れている処もあって、踏み外すと腰の辺まで沈んでしまい起き上がるのに両手でそこのシダを束にして体を引っ張り上げる場面を何度も経験した。また、雨で踏み跡もすぐ消えてしまうことから後続者への目印に雑木の小枝を折ってテープ代わりにした。急登を繰り返しながら一瞬、冬場の堂満ルンゼや蛇谷ヶ峰の腰まで浸かるラッセルを思い出した。

登山道が通る稜線までには、ピナクル(小尖塔)越えが控えている。遠くから眺めると花崗岩が風化して白っぽくなった痩せ尾根の中央部に黒ずんだ岩の塊が上部への行く手を遮る形で屹立していた。事前の調べから、ピナクル手前でハーネスやスワミベルト等を身に纏って向かった。ピナクルの取付きからは状況偵察の為、岩壁に沿って歩き始めるが円弧になっていて先が見えず手掛かりは脆い岩壁の隙間のみ。三点支持でトラバースするも足元は風化によって切れている処もあったが何とか通過。着地は痩せ尾根の急傾斜部分で白いザレ場。脆く滑り易かったが注意すれば安全に通過できることを確認して念の為、ロープを使用。ザックの落下防止を図った上でビレイポイントを探した。準備の最中、真下から「右谷側

の方が良さそう」との声が掛かりロープを送った。安全にピナクル越えを終え、痩せ尾根を通過して少し登った処で昼食。昼食後は、シダや藪漕ぎのアスレチックに時間を費やした事から当初計画していた岳山(565m)から日吉神社へ下山ルートを変更し、岳山から一般登山道を辿って長谷寺方面へ下山し、近江高島駅に向かった。マイナーなコースを堪能した一日だった。

【コースタイム】

富坂口BS09:20~12:18ピナクル~13:42稜線登山道~14:09岳山~16:03長谷寺~16:21近江高島駅

【参加者】

久保和恵 魚津清和 岩崎しのぶ 豊田哲也 永井和
山本義博 黒岩敦子 横山規江 計8名



ビクトリア山頂にて 写真提供：重廣恒夫

顔全面に入れ墨をした女性のいる村を訪ねた後、バガンに向かった。ホテルに荷物を置いてからバガン遺跡観光。夜は、ナンダ・レストランでミャンマーの伝統的な繰り人形(パペット)のショーを見ながら食事した。

11月20日(火)晴

日の出時刻にホテルの屋上に上った。朝靄の遺跡群に陽光が降り注ぎ、多くの熱気球が飛んでいる光景は幻想的であった。飛行機でヤンゴンに戻り、ミャンマー最大の聖地シュエダゴン・パヤーや巨大な寝仏など市内観光してからハノイに向かった。

【コースタイム】

17日 ミンダ村07:54(車)チャーチャウン川08:45~14:00
ロッパ村~エイ村18:10(車)19:09テンマイルキャンプ
18日 テンマイルキャンプ06:43(車)登山道入口07:11~
10:20ビクトリア山11:20~テンマイルキャンプ13:25(車)
16:13カンパラット村

【参加者】

岩崎しのぶ 岡田輝子 豊田哲也 茂木完治 横山規江 重廣恒夫 (首都圏)澤田幸子 (四国)前田英昭 会員外2 計10名

**支部山行18-31 関西支部海外山行
ミャンマー・ビクトリア山**

重廣恒夫

11月15日(木)晴

関空からハノイを経てヤンゴンへ。夕食は、アウンサン将軍の執務室が残されているハウス・オブ・メモリーズでとり、ホテルに入った。

11月16日(金)晴

早朝ヤンゴンから飛行機でバガンに入り、四駆でミンダ村に向かう。エーヤワディー河に架かる橋を渡り、途中のレストランで昼食をとった後、ミンダ村(1400m)に到着。(1800mマウント・オアシスリゾートロッジ泊)

11月17日(土)晴

ロッジから車で一旦700m下る。川沿いの道を歩いた後、チン族の住む村への急登の道を辿る。村に入ると道は緩やかになり、入れ墨(今は禁止)をした女性を見ることができた。さらに急登を続け、自動車道を2時間ほど歩いてエイ村に到着した。そこから車でキャンプ地に向かった。(2700mテント泊)

11月18日(日)晴

キャンプ地から車で車道を下り、登山道に入る。高木に蘭の黄色い花が見え、シヤクナゲの赤が青空に映える。平坦地に入ると色とりどりの花が咲いている。その後、車の通行が禁止されている車道を歩いてパコダの建てられたビクトリア山頂上(3053m)に到着。昼食の後、下山にかかるが、バイクの後部座席に乗ってくる地元の人とすれ違う。荷物の整理後、カンパラット村に向かう。(1895mロッジ泊)

11月19日(月)晴

**支部山行18-32 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く13
鷲峰山コース**

黒岩敦子

11月22日(木) 雨後曇

降水確率80%予報が好転しないまま半ばあきらめていた今回の山行。久保さんから前日夕方に届いた「決行します」の嬉しいメール。

雨対策をしっかりとって集合の郷之口バス停へ。そこで京都の山や史跡に精通された内田さんが「わが町近くの山へようこそ」と説明しながら先頭を歩いてくださる。住宅地を抜けた先で歴史を感じる御栗栖神社到着。衣服調整して地福谷林道へ向かう。荒れた舗装道路の長い登

りの始まり。途中大道寺登山口分岐で少々慌ただしく昼食を済ませ、金胎寺へ更なる登り。ひなびた山門をくぐると、紅葉と足元一面の落ち葉のじゅうたんが迎えてくれた。入山料を支払いお参りして古くは空鉢の峰と呼ばれた山岳信仰の霊山、南山城最高峰の鷲峰山山頂へ。期待していた琵琶湖や比良山系の眺望は残念ながら雲の中。下山道は急下降の荒れた参道が待ち受ける。「70歳以上はストック使用」と声が飛ぶ。慎重に歩を進めると突然展望が開け、美しい山並みと一面の茶畑が目に飛び込んできた。登山靴で舗装道路を長時間歩き、足に負担を感じていたのでご褒美のよう。薄日も差した美しさに一同大感激！山座同定し、きれいに整えられた茶畑の中を歩き原山バス停へ。解散の加茂駅で駅舎から見えた鷲峰山に別れを告げる。

心配した雨は降らず大汗をかくこともなく、ガイド付きの楽しい山行だった。



荒れた登山道からやっと下山 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

郷之口BS 09:33～10:21御栗栖神社～10:59鎌磨橋～12:11
大道寺登山口分岐12:37～13:15金胎寺～15:04原山BS

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 内田嘉弘 内田昌子
嶋岡章 高木知子 橋本圭之輔 森沢義信 浅田博三
秋月修次 金川清弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキ
エ 中田栄 蓮川博凡 計17名

支部山行18-33 4000山グランプリ
四国 稗己屋山・烏帽子ヶ森

尾野益大

11月23日(金・祝) 晴

稗己屋山は江戸時代、伐採を禁じられた「お留山」だった。複数ある登路のうち、二の谷林道の工事現場から歩き始めた。

崩壊地をいくつかやり過ごし、看板の立つ登り口に着いた。上がった主稜は広く緩い。踏み跡はあいまいだが、ずっと向こうに頂が見えていて迷う恐れはない。ただ、西風が冷たい。P1151西の皆伐地から明日、目指す烏帽子ヶ森が見えた。少し北のピークの方が烏帽子の形に似ていたが…。P1151から一旦下り、伐採地でブナの倒木を乗り越えてジグザグに登って天辺に達した。ヌタ場の横に三角点(1228m)があり、東にスズタケを残していた。「稗己屋」とは、寒さをしのぐ小屋があったからか、と由来に思いを馳せた。「稗己を作っていた山」との説もあるが、どうだろうか。下りはP1064を越えて林道が尾根を横切る地点まで歩き、風を避ければかぼか陽気の下で昼ご飯を食べた。

魚梁瀬の町まで戻って温泉につかり、Uターンして幕営地向かった。個々に好きな場所にテントを張った後、東屋で宴。

11月24日(土) 晴

前日と同じ工事現場を月の光を浴びて出発し、林道が尾根を横切る地点から烏帽子ヶ森を目指す。作業道はやがて途切れ、トラバースしながら広い主稜線へ。登っては下り、宝蔵山の手前からは登り一辺倒になる。空がすみれ色に染まり、頂の手前に来ると赤い朝日が昇った。お留山の時代から残る巨樹が輪郭を現した。剣山山系では珍しいスズタケをかき分けると宝蔵山(1249m)に出た。スズタケの間にかろうじて踏み跡が見え、五感と両腕、両足をフル稼働させて前進した。美事な巨樹が次々現れる。「原初の森」の風景を眼前に見ると、病的なほど秒速で動く現代社会の課題に気づかせてくれる。P1257まで来ると、山頂が射程に入った。アップダウンは相変わらず。昨日、烏帽子の形に見えたP1314の直前で、全員がつながる命綱を信じて一歩一歩、上へ。樹林限界を越えてP1314に立つ。



夜明け前の宝蔵山山頂 写真提供：重廣恒夫

稗己屋山が遠くに見え、昨年登った甚吉森もあった。急下降して少し登る。岩場を巻くと、西側に天然の森が現れた。東斜面に下る登山道と合流し、刈り分けと思われる尾根道をどんどん進むと突然、全伐した広場に出て天狗塚、三嶺、次郎笈、剣山など飽きないパノラマが迎えてくれた。三角点(1320m)の周りで昼食。記念撮影後、転落に注意しながら下る。朝に立った宝蔵山から再び宝蔵山に帰ってくるまで約10時間。やがて陽が沈みかけ、幻想的な風景に包まれた。何気ない杉林に赤い斜光線が入った。まさにアーベントロート。これはきっと山々が祝福してくれた証だと思った。暗闇の中、無事、林道に立った全員の喜びは昨日の何十倍もあった。

【コースタイム】

23日 工事現場09:32～09:44登山口～10:20P1151～10:53稗己屋山～11:57P1064～12:23峠～13:13工事現場
 24日 工事現場03:34～04:12峠～05:55宝蔵山～09:17P1314～10:58烏帽子ヶ森～12:45P1314～16:03宝蔵山～17:13P1114～17:40峠～18:20工事現場

【参加者】

重廣恒夫 新本政子 黒田記代 村田かおり (四国)尾野益大 小林京子 滝由喜子 家段勝好 岡本澄子 森山宏昭 四宮知子 松浦博 (23日のみ)岡田輝子 松村文子 松村竹次郎 計15名

**支部山行18-34 わんぱく探検
有馬富士公園**

茂木完治

11月25日(日) 晴

参加者が子供11名を含む25名になって、うれしい悲鳴を上げた。なんといっても元気盛りの9歳の子供たちは、動きが激しくてこちらの目がついていけない。福島大池へ向かう途中で道を外れて沢に行くとゼリー状の塊が流れの中に。水生動物の卵のようだが突っいたりして大騒ぎ。その後、かやぶき民家から芝生公園へ。そこで恒例の紙飛行機大会。子供たちは、紙飛行機が好きである。大人もつい熱中してしまう。お弁当を食べてから大人たちの希望者は有馬富士登山へ。子供達は自然学習センターで少しお勉強してから遊びの王国へ。思い切り遊んだ楽しい一日だった。

【参加者】

久保和恵 豊田哲也 辻和雄 茂木完治 (会員外21内4歳児：橋本玲奈・松根里奈、5歳児：中原大雅、8歳児：橋本彩里、9歳児：澤村ひらく・高瀬かんだ・中原大翔・



芝生公園の大岩に全員集合 写真提供：茂木完治

古庄まさのり・松根伶音・村上こたろう・村上こゆず) 計25名

**支部山行18-35 ゆるやか山行
京都西山 松尾山・嵐山・烏ヶ岳
小林三喜男**

12月6日(木) 曇後雨

今年最後の忘年山行例会、阪急嵐山線上桂駅に集合。大所帯の山行となった。

駅前住宅街を抜け、地藏院、かぐや竹御殿、西芳寺等の名所を巡り西芳寺川沿いの竹林、紅葉した樹木を愛で、西芳寺川を遡上。あつという間に松尾山登山口に到着。師走と思えない異常な暑さと湿度、雨模様などの悪条件の為、準備体操も短縮し雨具装着にかかる。雨の確率が高い為、烏ヶ岳への往復組、松尾山から下山する短縮組とに分かれた。登山口からいきなりの急登と異常な暑さで汗が滴り、その都度、衣服調整の休息を余儀なくされた。要所に樹木の間から麓の京都市内の光景が望め、休息に疲れを癒やしている間に法輪寺方面分岐に到着。短縮組と別れて松尾山(三等△276m)に到着、昼食をとる。

午後から本降りになる予報の為、早めに食事を済ませ嵐山に向かう。痩せた尾根道を慎重に歩を進め、嵐山(382m)に到着。休む間も無く、間近に見える烏ヶ岳に向かう。台風の影響で倒木被害が多いとの情報により最短コースを避け、安全を期して東側尾根に迂回して烏ヶ岳(398m)到着。頂上は樹木に囲まれ視界は望めず。復路は短縮ルートを選択した。予想していた通り、倒木などが行く手を阻んだが、無事クリアーし、法輪寺方面分岐に戻る。分岐付近から見える比叡山、愛宕山の眺望が素晴らしい。山裾に雨雲が漂い、好天時とは違った光景に魅せられる。法輪寺から急斜面を下る。竹林が続くあたりから雨脚が強くなった。阪急嵐山駅で短縮組と合流。観光客で賑わ



雨にも負けず元気です 写真提供：魚津清和

う渡月橋を渡り、JR嵯峨嵐山駅に向かい歩行終了。

山行解散後、京都で新たに5名が加わり盛大な忘年会を過ごした。

【コースタイム】

阪急上桂駅09:40～10:25松尾山登山口～11:38松尾山12:07～12:40嵐山～13:21烏ヶ岳～14:10法輪寺分岐～15:02渡月橋～15:20JR嵯峨嵐山駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 内田嘉弘 内田昌子
浦上芳啓 金井健二 黒田守彦 薦田佳一 嶋岡章 田頭夏子 永井和 野村哲夫 橋本圭之輔 廣瀬健三 前田正彰 森沢義信 秋月修次 浅田博三 金川清弘 岐部明弘 木村早苗 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 会員外1 計30名

支部山行18-36 しっかり歩こう 北摂 布見ヶ岳から大岩ヶ岳

永井 和

12月8日(土)快晴・風強し

この冬はじめての本格的な寒波が日本列島をおおい、冬型の気圧配置による晴天の一日、北摂・千刈水源地进行をめぐり山々を歩いてきた。

宝塚駅から阪急田園バス波豆行きに乗り、登山口の清ノ瀬橋で降りる。水源入口の広場で準備体操をすませ、布見ヶ岳にむかって南に延びる尾根を進む。途中、小さな祠のある小ピークで小休止したあと、布見ヶ岳(366.2m)に到達。風が強く、冬枯れの樹木は葉をすべて落としており、遮るものが少ないので遠くがよく見通せる。厚く積もった落ち葉を踏みしめながら、青空のもと快適な尾根歩きが楽しめた。

尾根伝いに大岩ヶ岳へ行くのは困難なので、頂上から

10分ほど下ったコルで右に折れ、谷を下る。この下降路は、コルからの入口がやや不明瞭だが、下るうちにだんだんよく踏まれた道となる。30分ほどで水源地の湖面に出る。周回路は湖面より数メートルから十数メートルほど高いところを走っているので、下りすぎないことがポイントだ。周回路はあまり手入れがなされていないようで、ところどころ崩壊のため道がえぐれている箇所がある。通行に支障はないが、大木が倒れている箇所も何か所かある。大岩ヶ岳と東大岩ヶ岳の鞍部から北西にのびる谷に出合ったところで昼食タイムとする。

当初の計画では、この谷をつめて大岩ヶ岳と東大岩ヶ岳の鞍部から頂上へ出る予定だった。倒木の状態から谷を登るルートは困難だと判断し、通常のハイキングコースで大岩ヶ岳に登ることにした。このあたりの山の特徴か、頂上直下はなかなかの急傾斜である。山頂(384.1m)では遅れ気味の後続を待ちつつ、360度の大展望を楽しんだ。六甲山の連嶺を裏側から眺めるのは、今回が初めてであった。急斜面を下り、大きな岩のある急斜面を登り返して東大岩ヶ岳に到着。ここでも同様の大展望を楽しんだ。馬の背往復後、尾根コースで丸山湿原にむかった。丸山湿原からは整備されたハイキングコースをたどり、展望のいい丸山三角点(281.4m)を経由して、JR道場駅まで歩き解散した。

【コースタイム】

清ノ瀬橋BS09:18～10:27布見ヶ岳～11:10周回路合流～12:02昼食12:30～13:41大岩ヶ岳～14:26東大岩ヶ岳～15:01丸山湿原～15:54風吹岩～16:47道場駅

【参加者】

山内幸子 久保和恵 中島隆 黒岩敦子 永井和 松仲史朗 小黒節郎 深沢優子 計8名



大岩ヶ岳からの展望 写真撮影：山内幸子

支部山行18-37 六甲山を歩く 加古川・生田川の源流と穂高・槍?を求めて 辻 和雄

12月9日(日)曇

今回のコースにある「新穂高」と「シェール槍」は、六甲全山縦走路を摩耶山から記念碑台へ向かう途中にあり、いつも気になっていた場所であったので参加した。

今回のコースは、裏六甲の北神急行電鉄谷上駅から南下し、石楠花山の裾を越えて少し行くと谷沿いの道となるが、なんと生田川の源流だそうだ。六甲山系の北側に当たる谷が大阪湾に注ぐ生田川の源流とは驚く。谷を少し進むと徳川道に出て東に少し進むと「新穂高」への登り口と出合うが判りにくい。急坂を登り新穂高の頂上に出る。下りも笹の中の判りにくい道。再び徳川道に出てシェール道に合流し「シェール槍」へと向かう。全体に



穂高湖周遊道路の分岐 写真提供 辻 和雄

岩場の道を進み、頂上は眺めが良い。昔の六甲山は木が無かった事から、多分槍ヶ岳のように見えた事から命名されたのか？シェール槍を下ると穂高湖に到着。静かな池の周りを歩き、摩耶山に向かう。六甲全縦では下りに使うので意識しないが、結構急なアゴニー坂を登ると掬星台に到着。

神戸の眺めを堪能し、青谷道を下って王子公園駅へ向かう。王子公園の神戸登山研修所では久保さん旧知の兵庫県山岳連盟の方と出会い、王子公園駅に到着。楽しい山行だった。

【コースタイム】

北神急行谷上駅08:35～09:56双子山分岐～10:10瀬池～11:05新穂高登山口～12:04新穂高～12:45シェール道東屋13:05～13:25シェール槍～14:25摩耶掬星台～15:57青谷下～16:27阪急王子公園駅

【参加者】

前田正彰 深澤優子 橋本圭之輔 久保和恵 山内幸子 辻和雄 会員外1 計7名

支部山行18-38 忘年山行

12月15日(土)-16日(日)は、中止しました

支部山行18-39 4000山グランプリ

不溜山～乗幸山～富栄山～大空山

重廣恒夫

今回は例年の積雪状況を想定して2泊3日と計画したが、思わぬ暖冬で地元の人がびっくりするくらい降雪が少なく、刈払い道を黙々と歩くことになってしまった。

12月22日(土) 晴

津山駅からタクシーで出合の集落に向かう。道路に雪は無く、さらに奥まで行けるかと期待したが、道は荒れていてすぐ降車となった。林道富東谷線を歩き、途中、天然記念物「四季桜」の老木を見て林道終点に向かう。その先は稜線に向かう新しいブル道ができていて、その道を辿ると不溜山の分岐に出た。先日の雪が少し残り、根曲竹を押しつぶして歩きにくい場所もあったが、難なく展望のきかない不溜山(1125m)の頂上に立った。登山口に戻って新しく開削された作業道を東に向かい、まだ早い時間ではあったが、P1149に喰いこんでいる小沢の出合で流水を見つけテントを張った。

12月23日(日) 晴

今日も単調な作業道歩きから始まる。途中、何度か乗幸山の稜線に乗ろうとしたが、根曲竹の濃さに恐れをなして、P1136すぐ西のコルに出る切開き道に入った。重いザックをデポして乗幸山(1173m)を往復した。デポ地からは稜線に忠実につけられた切開き道を辿る。しばらく西に進んだ稜線の屈曲点は、ブナの林の心む場所であった。さらに西に進むと木製の展望台のある富栄山(1205m)に到着した。360度の展望の頂も残念ながらこの日はガスって展望ゼロであった。

さらに西に進むと夏道との合流点に出た。ザックをデ



大空山山頂にて 写真提供: 重廣恒夫

ポして稜線を南進し大空山に向かう。いくつかのアップダウンを繰り返して、東南側が切開かれた頂上(1104m)に着いた。デポ地まで引き返し、夏道を登山口に向かうが、急斜面に付けられた登山道は歩き難い。丸木橋を渡り、いったん稜線まで登って登山口に下った。キャンプ場を経てのどろ温泉に下るが、この頃から雨が本降りとなった。タクシーを待つ間、天空の湯で汗を流した。

【コースタイム】

22日 タクシー降車地10:59～11:27四季桜～13:19林道終点～14:41登山口～15:10不溜山～16:00水場

23日 テントサイト06:09～07:55乗幸山～09:35富栄山～10:33大空山～12:50登山口～13:18のどろ温泉

【参加者】

黒田記代 重廣恒夫 計2名

個人山行(10月～12月)

※安全委員会に提出された個人山行登山計画書

10月3日	鈴鹿 霊仙山
10月5日～8日	北ア 横尾～涸沢
10月6日～7日	信州 角間溪谷
10月8日	丹波 白髪岳・松尾山
10月10日～22日	上越の山を巡る
10月13日	湖南アルプス
10月14日	丹波 半国山
10月15日	信越トレール(関田峠～仏ヶ峰)
10月16日	湖北 賤ヶ岳
10月17日	信州 黒姫山
10月17日～20日	阿寺山系 奥三界岳・高時山

スケッチ同好会 例会のご案内と報告

第29回 【案内】

日時 2019年5月15日(水)～17日(金)
 行先 小豆島
 交通 電車と連絡船(宿舎より送迎あり)
 費用 約23,000円
 (「国民宿舎 小豆島」宿泊費・交通費等)
 申込み 4月10日(水)迄 担当：播戸日出生
 e-mail : hbando4212@nifty.com

☎ 06-6357-5960(携帯 090-5242-4880)

備考 詳細は後日申込者に連絡

第4回グループ展 【案内】

会期 2019年6月24日(月)～28日(金)
 会場 大阪市立総合生涯学習センター・ギャラリーB
 (大阪駅前第2ビル5階 ☎06-6345-5000)

【報告】 第26回奈良県立大和民俗公園

日時 2018年11月12日(月)
 参加者 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 岡田輝子
 金井良碩 久保和恵 薦田佳一 齋藤修 嶋岡章
 野村哲夫 播戸日出生 森澤義信 横山規江
 計13名

【報告】 第27回神戸北野・異人館

日時 2019年1月21日(月)
 参加者 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 金井良碩
 久保和恵 薦田佳一 嶋岡章 野村哲夫 播戸日出生
 松村文子 横山規江 会員外1 計12名



大和民俗公園 画：野村哲夫



萌黄の館 画：横山規江

10月18日	京都北山 棧敷ヶ岳	12月19日	大峰 稲村ヶ岳
10月20日～21日	高峰高原 水ノ塔山・黒斑山	12月23日～24日	大峰 釈迦ヶ岳
10月27日	金剛山 妙見谷(沢登り)	12月28日～1月13日	ネパール ランタン溪谷ゴブチェ川
10月28日	京都 音羽山	12月28日	北摂 中山最高峰
10月30日	北摂 剣尾山・三草山	12月29日	北摂 ポンポン山
11月2日	奥美濃 金糞岳	12月29日～1月2日	瀬戸内 周防大島の山々ほか
11月3日～4日	信州 虫倉山		
11月3日～4日	大分 祖母山・傾山		
11月4日～9日	西上州の山々		
11月11日	六甲全山縦走		
11月11日～14日	鈴鹿山城		
11月17日	比良 岳山～鳥越峰		
11月18日	京都北山 棧敷ヶ岳		
11月30日	北摂 釈迦ヶ嶽・小和田山		
12月3日～16日	九州中西部の山域		
12月8日	金剛山 石ブテ谷(沢登り)		
12月15日	湖東 織山		
12月14日	岩手 赤林山		

『山行ひろば』開設します!!

個人山行の仲間を見つけませんか。

支部ルームに集まり、あこがれのルート、花を求めて、新緑・紅葉・雪景色など四季の山、小屋泊やテント泊、日帰りから縦走まで山の話で盛り上がり、関西支部のメンバーと一緒に行きませんか。まずは直接会って、登りたい山の話をししましょう。

5月から奇数月に開催。第1回目は5月22日(水)午後6時半より。出席予定の方は、事前に黒田まで参加の旨メール下さい(e-mail: kuroda2822@kcn.jp)。

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(10月～12月)

武田壽夫

台風禍を期に山や山道の保全に改めて関心が高まっているようだ。当会も今季体験参加者15名を受入れ、4名の新入会員を迎えている。いずれもトレイルランナーで、JACとしても「一層奮起せざるべけんや」である。また、当期、漸くハイカーの姿も見え出し、当会活動の意義を改めて実感。なお、11月には「自然観察会」を実施。

2018(平成30)年10月4日(木) 9:30～15:30

天候：薄曇のち少雨(気温：17℃)

エリア：「44林班い」、「45林班ろ-04・に-03」ほか

内容：台風21号・24号による倒木・落枝の整理と体験参加者への実習を兼ねたオリエンテーション

【参加者】 石原順子 泉家恵子 斧田一陽 河野直子
武田壽夫 宮本廣 茂木完治 山本國雄 (体験参加4)
計12名

2018(平成30)年10月21日(日) 9:30～15:30

天候：晴(気温：15℃)

エリア：「44林班い」、「45林班ろ-04・に-03」ほか

内容：台風の後始末 ほか

特記：作業靴・安全帽・鋸替刃などの備品補充

【参加者】 泉家恵子 斧田一陽 小櫃徹夫 金井良碩
倉谷邦雄 薦田佳一 黒山泰弘 杉本佳英 武田壽夫
福西勇之助 山田真也 山本國雄 (体験参加1)

計13名

2018(平成30)年11月1日(木) 9:30～15:30

天候：晴(気温：12℃)

エリア：「44林班い・に」、「45林班ろ-04・に-03」ほか

内容：台風被害木の整理と体験参加者の活動地体験

【参加者】 内海宏一 倉谷邦雄 後藤和子 杉本佳英
武田壽夫 山田真也 茂木完治 山本國雄 (体験参加2)
計10名

2018(平成30)年11月18日(日) 9:30～15:30

天候：晴(気温：12℃)

エリア：「44林班い」ほか

内容：作業道・里道の修復と自然歩道の安全度向上、並びに体験参加者の活動地体験

【参加者】 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄 黒山泰弘
武田壽夫 中村賢三 山田真也 宮本廣 山本國雄
(体験参加3) 計12名

2018(平成30)年12月6日(木) 9:30~14:30

天候：AM晴・PM雨(気温：11℃)

エリア：「45林班ろ-03(人工林)・に-03(天然林)」ほか

内容：林床整備・枯損木と過密な広葉樹の除伐、並びに体験参加者の活動地巡回

【参加者】 石原順子 内海宏一 斧田一陽 倉谷邦雄
工藤貴士 越野雅美 杉本佳英 武田壽夫 山田真也
宮本廣 山本國雄 (体験参加1) 計12名

2018(平成30)年12月16日(日) 9:30~14:00

天候：曇のち雨(気温：5℃)

エリア：「45林班に-01」(天然林)

内容：林床整備・枯損木などの除伐、林床整備、作業小屋の整理、体験参加者の活動地案内

【参加者】 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫 河野直子

工藤貴士 倉谷邦雄 黒山邦雄 後藤和子 杉本佳英
武田壽夫 豊田哲也 中村賢三 宮本廣 茂木完治 山本國雄 (体験参加4) 計19名

※終了後、場所を移して納山会開催 金井初代会長も参加

◆森林観察会

2018(平成30)年11月8日(木) 10:30~15:00

講師：斧田一陽

担当：武田壽夫

内容：活動地一帯の樹林の特徴、食害・虫害等を説明。作業小屋から本山寺山山頂間を往復し、樹林の特徴や台風の影響状況等を観察。作業小屋前で広葉樹の伐倒を体験

参加者：楽山会会員11名

※後日、楽しい経験をさせていただいた旨のお礼あり

台湾高峰と溪谷 第4回 台湾中央山脈の南二段縦走記(2014年10月) 茂木完治

中央山脈の南二段と呼ばれる区域の最も奥深くに達芬尖山(3208m)という三尖の一つが鎮座している。登りたいと思ったがどこから登っても長い日数を要する。この山は中央山脈のど真ん中であって、北から行っても、南から行ってもとても遠い。少なくとも7日を要する。せっかくだから南から縦走することにした。そして2014年の秋に8日かけて向陽山(3602m)から秀姑巒山(3805m)まで縦走し、達芬尖山の登頂を果たせた。

10月26日 台北から東部幹線を南下して関山駅下車。花蓮から南は単線でローカルな田園を走るのがたまらない魅力だ。関山駅から車で下馬温泉へ行き泊。

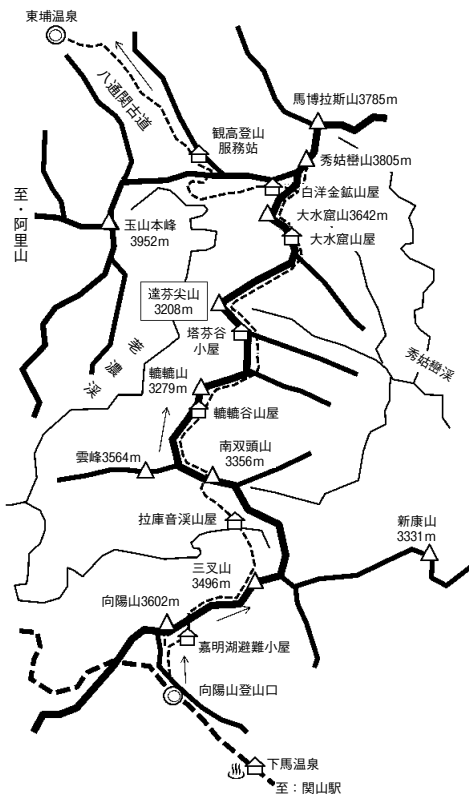
27日 下馬温泉から向陽国家森林遊楽区へ行ってポーター3名と合流。ポーター長のボアさんは以前NHKのグレートサミットという番組で活躍した方であった。向陽山には雨の中を嘉明湖避難山屋まで登る。学生の団体が満員のためやむを得ずポーター小屋に泊まるが、雨漏りに悩まされた。

28日 天気は一転して快晴。素晴らしい眺望だ。南は北大武山から北は玉山まで見る事ができた。隕石孔と言われる美しい嘉明湖を往復し、三叉山(3496m)から拉庫音溪山屋に下った。

29日 快晴。4時半に出発。700m登り南双頭山(3356m)に到達。新康山の肩から昇った朝日に輝く玉山箭竹の笹原の稜線がまばゆく美しかった。雲峰が指呼の距離に見

える。欲を出して雲峰のせめて東峰くらいは登れそうと思ったが甘かった。あきらめて裾を巻いて轆轤谷山屋へ向かった。轆轤谷山屋は轆轤山下部の草原にポツンと立つ赤い屋根の小屋で、まさにオアシスのようであった。30日 快晴。今日は行程が楽なので明るくなってから小屋を出た。300mの登りで轆轤山東峰(3267m)に達する。山内と加納は本峰を目指してさらに登る。残りメンバーは先へ進み体力温存をはかる。ここからは南方がよく見える。雲峰はその大きな山容を示し、その左には南双頭山があり、二つの山の間の向こうに向陽山が見えている。水の涸れた塔芬池より一登りで塔芬山(3090m)に着いた。最高の展望台で、玉山群峰が老濃溪の向こうに大きく聳えて素晴らしい。道は下りになって台湾二葉松の林を緩く下る。松葉が道を覆い、ひどく滑りやすく、それがひどく疲れさせた。塔芬谷山屋では、小屋の前に生えているアザミの根をポーターが煎じて飲ませてくれた。ごぼうのような風味で、肝臓に効くそうである。小屋の脇の林に清水があり3日ぶりに天水でない水が飲めた。きれい好きの方々は身体を洗ったりしたようだ。

31日 快晴。今日は目的の達芬尖山に登り、南大水窟山から大水窟山屋までの行程で、まさに正念場。まだ暗い4時過ぎに元気いっぱい出発。登るうちに夜が明け、赤く染まった達芬尖山が見えた。ガレ場をトラバースすると分岐があり、荷物をそこに置いて頂上へ向かった。達芬尖山(3208m)の頂は素晴らしい展望台だった。塔芬山



も素晴らしかったが、こちらの方が若干玉山に近くて遮るものがない。中央山脈の真ん中であって、ちっぽけな三角形の山に過ぎないのに名山に選ばれているのは、これほど玉山が見事に見えるところはないからだろうと思った。長い登りの末に南大水窟山(3381m)に登り、長い休憩をした。未練いっぱい重い腰を上げて大水窟山屋へ向かう。草原に赤い屋根の小屋が見えてきた。小屋のすぐ近くに池がある。すばらしい場所だ。まさにここはパラダイス。別天地というにふさわしい。

11月1日 快晴。加納夫妻と山内は秀姑巒山(3805m)に登るので先発。後発は8時発で、ゆったりした日になった。大水窟山屋の魅力に未練たっぷり、後ろ髪を引かれるような思いで出発した。大水窟山(3642m)の頂上は広く、踏み跡が入り組み天気が悪いと迷いそうだ。たくさん焦げた倒木があり、山火事で丸焼けになったのであろう。眼下には、昨日登った達芬尖山が低くかわいい尖塔をもたげている。その南に歩いてきた山々が、そしてさらに南の空との境には青いシルエットになって関山、卑南主山、かすかに北大武山が一望にできた。秀姑坪で秀姑巒山登山組を待って白洋金鉱山屋へ下った。白洋金鉱山屋は標高3400mでけっこう寒く、朝に霜が降りていた。

2日 晴後曇。見上げると山稜から7色に彩られた朝日が出てきた。2時間ほどで中央金鉱山屋に着き、そこか

らは水平道で八通関へ向かう。道幅は2~3mで、戦前日本が台湾横断道路として整備したものだ。八通関が近づくと老濃溪の向こうに達分尖山、轆轤山、雲峰が並んで見える。ここから見ると達分尖山も見上げるようだ。歩いてきたこの山々ともここでお別れだ。八通関は草原で、中央山脈と玉山の間を繋ぐ尾根の最低鞍部にある。戦前、日本はここに駐在所を設けて山地支配の要にしていた。駐在所といっても要塞みたいだったようで、機関銃も装備されていたらしい。以前は八通関から観高へ1時間足らずであったが数年前に大崩壊があって、今は300m登って400m下る3時間の巻道である。これがけっこうつらい。山行最後の晩は、観高にあるコンクリートの宿泊所であった。かってここまで林道が上っていた名残である。小屋からは、台湾第3の高峰・秀姑巒山と、第4の高峰・馬博拉斯山が並んで見える。

3日 曇。今日は下山日である。標高差1500mを陳有蘭溪に沿う八通関古道を1日かけて下る。途中、神木域、乙女滝、雲流瀑布などの名所がある。朝起きると今にも降り出しそうな暗雲の垂れ込めた空で、雨に遭う前にと急ぎ出発した。1週間続いた好天も終わりのようである。東埔に下って茶店で愛玉を食べた。愛玉とは、寒天のような食べ物で、ほのかな甘みが格別でたまらない。夜はポーターのボアさんのお宅を訪問して山地民の食事をごちそうになった。

今回の山行では、74歳直前の澤田幸子さんが五岳三尖を達成できたことがうれしかった(私も彼女に励まされ、一昨年5月中央尖山に登って五岳三尖を達成できた)。(同行)山内幸子 久保和恵 許基滄 澤田幸子ほか3名

出版案内

平林克敏著

『エヴェレストが教えてくれたこと』

山と溪谷社 価格：本体1,800円+税

松浦輝夫、植村直己に続きエベレストの頂上に立った平林さん(支部評議員)が豊富な登山経験をもとに成功を取めた理念を語る。

Room日録

2018年	12月7日(金)	自然保護委員会	1月12日(土)	HP移行作業	
11月13日(火)	HP移行打合せ	11日(火)	支部事務処理	16日(水)	総務委員会
	財務打合せ	13日(木)	支部報発送	17日(木)	登山文化研究会
15日(木)	関西登山史研究会		役員会		役員会
20日(火)	晩餐会展示品打合せ	17日(月)	晩餐会展示品返却作業	19日(土)	ナンガマリ報告書編集会議
22日(木)	HP移行打合せ	18日(火)	山行委員会	23日(水)	新入会員OR
	役員会	19日(水)	安全委員会	30日(水)	会計事務処理
23日(金)	HP移行作業	25日(火)	財務委員会		印刷業者打合せ
24日(土)	HP移行作業	2019年			夏山検討会
25日(日)	HP移行作業	1月3日(木)	支部事務処理	31日(木)	財務委員会
26日(月)	晩餐会展示品発送	10日(木)	HP移行作業		
12月5日(水)	晩餐会展示品返送受取		関西登山史研究会		
	ナンガマリ報告書編集会議	11日(金)	HP移行作業		

受贈一覧

(2018.11.1～2019.1.31受理分)

山岳おおさか No.218, 218別冊 大阪府
山岳連盟
登山月報 第596, 597, 598号 日本山岳
・スポーツクライミング協会

兵庫山岳 第617, 618, 619号 兵庫県山
岳連盟
日本山岳会支部報
・[東京] たま通信 第34号
・[山梨] 支部通信 第3期 第5号
・不盡: 静岡支部会報 第84号
・東海支部報 No.156

・JAC北九だより 第87号
・宮崎支部報 第66号

※発行者と同一の寄贈者は、御芳名の表示を省略

※電子版による受贈は、掲載省略

2019年4月～6月 支部山行計画

※後尾に申込み先連絡先掲載【締切厳守】

19-01 六甲山を歩く

「こんなところに城跡が？」

日 時：4月6日(土)

集 合：新幹線新神戸駅ガード下(駅舎1階東側)

午前9時

コース：布引～城山～大龍寺～再度山～鍋蓋山～七三
峠～平野谷～花隈城跡～JR元町駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」

備 考：歩行約8km 約5時間(休憩除く)

申込み：3月27日(水)迄 (担当：松仲史朗)

19-02 しっかり歩こう

「蜻蛉ノ滝から仏ヶ峰・青根ヶ峰・吉野」

日 時：4月7日(日)

集 合：近鉄大和上市駅 午前8時半までに集合

8:30発「ゆうゆうバス」乗車

コース：大和上市駅(バス)西河又は大滝BS～蜻蛉ノ
滝～仏ヶ峰～青根ヶ峰～金峰神社～吉野駅

地 図：2.5万分の1「新子」「吉野山」

備 考：地図を見ながら歩く(約18km 約7時間) 少
雨決行

昨年は桜の開花が早くこの時期は奥千本で満開

申込み：3月27日(水)迄 (担当：山内幸子)

19-03 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く17

「童仙房コース」

日 時：4月18日(木)

集 合：JR加茂駅改札口前 午前8時半

コース：加茂駅(バス)原山BS～門前～尾根最上部～
三番～四番～泥洹寺～五番・童仙房小学校跡
地～野殿～押原～月ヶ瀬駅

地 図：2.5万分の1「笠置山」「島ガ原」

備 考：歩行約15km 約6時間

申込み：4月10日(水)迄 (担当：久保和恵)

19-04 4000山グランプリ 01

「角ヶ山1153m・泉山1209m」

日 時：4月20日(土)・21日(日)

コース：津山駅～越畑～角ヶ山～越畑～笠菅峠～泉山
～奥津温泉

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：4月13日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-05 4000山グランプリ 02

「高三郎山1421m」

日 時：4月27日(土)～29日(月)

コース：金沢駅～駒帰～犀川ダム～高三郎山～犀川ダ
ム～駒帰～金沢駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：4月20日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-06 4000山グランプリ 03

「長倉山 1661m」

日 時：5月3日(金)～5日(日)

コース：小松駅～白山一里野温泉～長倉山～一里野温
泉～小松駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：4月26日(金)迄 (担当：重廣恒夫)

19-07 4000山グランプリ 04

「大雲取山966m・小雲取山450m」

日 時：5月18日(土)・19日(日)

コース：那智勝浦駅～那智高原～大雲取山～小雲取山
～諸川橋～新宮駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：5月11日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-08 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く18

「鳥見山コース」

日 時：5月23日(木)

集 合：近鉄長谷寺駅改札口前 午前9時

コース：長谷寺駅～長谷寺～天満宮～初瀬ダム・まほ
ろぼ湖～高東城跡～萱森～鳥見山公園～榛原
駅

地 図：2.5万分の1「初瀬」

備 考：歩行約10km 約5時間半

申込み：5月15日(水)迄 (担当：久保和恵)

19-09 しっかり歩こう

「京都北山 大曲から魚谷山・滝谷峠・貴船山」

日 時：6月1日(土)

集 合：京都地下鉄北大路駅 午前8時半

8:40発「もくもく号」乗車

コース：北大路駅(バス)大曲～判官坂～魚谷山～滝谷
峠～貴船山～夜泣峠～二ノ瀬駅

地 図：2.5万分の1「周山」

備 考：地図を見ながら歩く(約18km 約7時間半)
少雨決行

前半はルートファインディング

天候等によりコース変更あり

申込み：5月22日(水)迄 (担当：山内幸子)

19-10 六甲山を歩く

「有馬三山を登る」

日 時：6月8日(土)

集 合：有馬温泉BT(「金泉」北側) 午前9時

コース：有馬～落葉山～灰形山～湯槽谷山～極楽茶屋
跡～六甲最高峰～魚屋道～有馬

地 図：2.5万分の1「宝塚」「有馬」

備 考：歩行約12km 約7時間(休憩除く)

申込み：5月29日(水)迄 (担当：松仲史朗)

19-11 新入会員歓迎山行

「箕面の滝」

日 時：6月9日(日)

集 合：阪急箕面駅 午前10時

コース：箕面駅～箕面大滝～雲隣展望台～箕面駅

備 考：新たに入会された方々を歓迎し、雲隣展望台
でキノコ汁を囲んで交流を図ります
新人に限らず会員は参加できます

申込み：6月1日(土)迄 (担当：黒田記代)

19-12 4000山グランプリ 05

「七種山683m」

日 時：6月15日(土)・16日(日)

コース：福崎駅～野外活動センター(岩稜)七種槍～七
種山～福崎駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい

難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：6月8日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-13 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く19

「室生寺コース」

日 時：6月20日(木)

集 合：近鉄室生口大野駅改札口前 午前9時

コース：室生口大野駅～大野寺～室生路橋～一ノ渡橋
～東海自然歩道分岐～門森峠～室生寺～龍穴
寺～室生寺BS(バス)室生口大野駅

地 図：2.5万分の1「大和大野」

備 考：歩行約11km 約5時間

申込み：6月12日(水)迄 (担当：久保和恵)

19-14 4000山グランプリ 06

「日影平山1596m・丸黒山1956m」

日 時：6月29日(土)・30日(日)

コース：高山駅～日影平山～丸黒山～乗鞍岳剣ヶ峰～
豊平～ほおのき平

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：6月22日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

.....
ステップアップ登山教室 一般対象

(会員参加可、但し有料1回1,500円)

【初級】

4月4日(木) 座学

5月11日(土) 国見山・交野山

6月22日(土) 播磨アルプス

【中級】

4月4日(木) 座学

5月14日(火) ナダレ尾山・古倉山・花折山

6月11日(火) 柏尾谷・東ノ峰

【上級】

4月4日(木) 座学

5月23日(木) 蓬萊峡周辺

6月20日(木) 百丈岩周辺



2019年4月～6月 自然保護行事案内

1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：4月4日(木)・21日(日)・5月2日(木)・19日(日)・
6月6日(木)・16日(日)

予備日(雨天中止の場合 翌週同曜日)

集 合：JR高槻駅北口アルプラザ前 午前8時40分

作業内容：人工林林床整備・常緑広葉樹除伐整備・倒
木整備・歩道保全整備など

*体験作業・入会 歓迎

2 東お多福山ススキ草原復元活動

活動日：3月23日(土)・4月13日(土)・5月15日(水)

予備日(雨天中止の場合 翌週同曜日、5月
は翌日)

集 合：阪急芦屋川駅前 午前8時30分

作業内容：全面刈払、5月は植生調査・選択刈払

3 自然観察会・森林観察会

・新野水車の里バイカモ(梅花藻)観察

日 時：6月23日(日)

集 合：JR播但線新野駅前 午前10時

詳細は参加希望者に別途連絡

・本山寺山の森・東お多福山の活動日に観察会随時受入れ

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 ☎&Fax 072-633-6556 / 090-4037-4542

田島聖子(東お多福山) ☎ 078-411-3837

武田壽夫(バイカモ観察会) ☎&Fax 06-6421-0904

※締切：開催日の一週間前まで



**私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。**

IWATANI-PRIMUS
 イワタニ・プリムス株式会社
 www.iwatani-primus.co.jp
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20



MONTURA
 山と自然を愛するすべての人に、
 イタリア生まれのモンチュラの製品は
 アルピニスト、クライマー、トレイルランナーなどの方々に
 実用的かつ機能的な製品を提供します。

MONTURA OFFICIALSITE montura.jp
 MONTURA ONLINE SHOP montura.jp/store/




MONTURA直営店
ALPSTATION 心斎橋店
 大阪市中央区南船場3-1-8
 南船場ドリームビル2F
 TEL 06-6484-7126
 営業時間/11:00~19:00(火曜定休)
alp-osaka.jp



〈編集後記〉

☆スキー例会に参加しました。実に5年ぶりです。一泊二日という日程だったので、勘を取り戻す前に終了となったのが残念でした。

☆支部報は、A4判へのモデルチェンジから早いもので6年が経過しました。支部の活動を伝えるだけでなく、会員個人の登山を通した楽しみなども掲載するように努めています。投稿大歓迎。一層のご協力をお願いします。(N)

発行日 2019(平成31)年3月10日
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室
 公益社団法人 日本山岳会関西支部
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
 郵便振替口座 00930-6-55950
 発行者 金井良碩
 編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28

登山計画書(届)の提出を!

遭難対策として登山計画書を提出してください。

計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先: 関西支部安全委員会

- ①メール: keikakukansai@yahoo.co.jp
 - ②FAX : 0742 (48) 5946 黒田記代
 - ③郵 送: 〒630-8034 奈良市五条西1-29-4 黒田記代
- ※各警察署等へは、別途提出してください。



登山用品専門店
ロッジ
 ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、
 最新の山登り道具をたくさん揃えています。
 経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに
 皆様のご来店を心よりお待ちしております。

春夏新商品
 続々入荷中!!

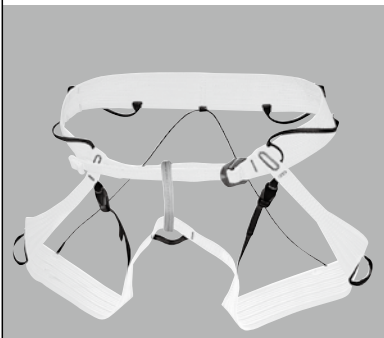
大阪店 TEL 06-6341-5578
 大阪市北区梅田1-11-4 駅前第4ビル2階
 京都店 TEL 075-222-0363
 京都市中京区御池通高倉西入高宮町200
 千代田生命御池ビル1階
 営業時間 11:00 ~ 20:00

ロッジプレミアムショップ
 楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>
 Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>
 ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>
 Instagram京都 <https://www.instagram.com/lodgekyoto/>
 Instagram大阪 <https://www.instagram.com/lodge.osaka/>
 検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。

URL一覧QR 

2019年 ハーネスNewモデル **BLUE ICE**

クラシカルなデザインに基本機能を搭載した軽量ハーネス。



CHOUCAS

コーカス
 ¥8,800+税

【重量】140g (M)
 【サイズ】S, M, L
 【認証】CE/EN 12277
 type C, UIAA

- ・グローブを付けたままでも操作しやすいバックル
- ・高強度なビレイループ
- ・オープンレグループでスキーやアイゼン装着のまま着脱可能

輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788

山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「がくじん岳人」

毎月
15日
発売

【4月号特集】残雪の立山

★メンバーのウェブサイト、全国のメンバーストアや書店にて発売中!

価格815円(+税)

▶年間購読がおすすすめ 購読割引 送料無料 限定品プレゼント

通常価格
12冊

9,780円
(+税)

年間購読
12冊

8,965円
(+税)

1年間で、1冊分
815円おトク!



年間購読のお申し込み WEB <https://www.gakujin.jp/> モンベルストアでも受付中

お問い合わせ モンベルポスト ☎0120-982-682 / TEL 06-6538-5797
※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

〒6068161
京都市左京区二乗寺木ノ本町15

ナカニシヤ出版

TEL 0757230111
FAX 0757230095

表示は本体価格です。



山の本をつくる

A5判
2,288頁
2,800円

「登山は文化です」ナカニシヤ出版前会長 中西健夫 著
「山が好き、本が好き」で50年、京都北山からヒマラヤ、アルプスまで、百冊以上の山書を出版した著者が、山の本へのこだわりと山を書く人たちとの交流をふりかえる。



京都府山岳総覧

A5判 272頁
口絵カラーほか
写真・地図多数
2,200円

京都府の339の山を实地踏査して、登路を含めて解説。主な山には概念図・写真を加えた、京都の山の最も詳しい案内書。標高100m以上全三角点を掲載。

日本山岳会 110周年記念出版



改訂新日本山岳誌

菊判 2016頁 写真・地図多数 上製クロス装・函入り

日本山岳会編著 18,000円
日本山岳会が脚で調査した、日本全国四〇〇〇山の最新情報を網羅した山岳百科事典を10年ぶりに改訂。地形や登山道の変化、地名変更、標高数値などを改訂。



山登りはこんなにも面白い

A5判 160頁 写真多数 1,800円

窪田晋二・檀上俊雄・草川啓三・中西さとこ・横田和雄 著
自分の意思をもって山に向かっている5人の登山者。それぞれが考える山登りの素晴らしさ、楽しさ、面白さを語る静山紀行。

【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーサービス(株)

オーストラリア大陸最高峰Mt.コジオスコ登頂と世界遺産ブルーマウンテンズ・ハイキング 6日間

出発日～帰着日	旅行代金 (大阪発着)
4/29(月)～5/4(土)	¥398,000

世界七大陸最高峰の一つともされるMt.コジオスコの登頂を目指し、豊かな森に育まれてきたブルーマウンテンズにも訪れ、短い日程でオーストラリアの大自然を満喫します。



▲整備されたトレイルをたどり山頂へ

Mt.キナバルゆったり登頂と南の島の休日 6日間

出発日～帰着日	旅行代金 (大阪発着)
5/13(月)～5/18(土)	¥286,000
6/06(木)～6/11(火)	¥296,000

2泊3日の余裕のある行程でマレーシア最高峰 Mt.キナバル(4,095m)に登頂します。残席も僅かですので、お早めにお問い合わせください。



▲最高地点のローズ・ピークを目指す



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ◎ボンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 0120-938-290
〒550-0003
大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)